

☆ SUBARU TIMES ☆ 新年号

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。



政治

昨年を一言で振り返りますと、『不確実性』が増した1年だったのではないのでしょうか。先の衆議院選挙で与党は過半数を割込み、野党の協力や合意なしでは法案を通すのが難しくなりました。アメリカ大統領選挙ではドナルド・トランプ氏が圧勝し、4年ぶりに大統領に返り咲きます。「自国第一主義」で内向きの姿勢を強め、関税の引上げや国際的な協定・機構からの脱退をちらつかせ、世界が分断する不安を増幅させています。また隣国の韓国では、12月に尹錫悦大統領が「非常戒厳」を宣布し、政局は大混乱に陥っていることは記憶にも新しいところです。

不確実性の中で大切なのは、筋の通った理念と方針です。これからは数で押し切る政治ではなく、政策を議論し、国民を向いた政治を期待したいものです。

経済

今年は2025年、21世紀が始まって4分の1が経過しました。また今年は昭和100年の年にあたり、戦後80年の節目の年でもあります。

高度経済成長期の終焉から長期のデフレによる低迷期を経て、人口減少社会となった現在において、既存のルールや慣習のままでは制度自体が成り立たなくなりつつあります。皆それを薄々と感じてはいますが、何とかそれでもやっていけたので既存のやり方や慣習を続けていました。しかしそれも限界に来ているようです。

経営者は人材の確保に苦勞しながら物価高や金利が上がる中で賃金も増加させ、事業を回していく必要があります。そのためには生産性を高め、合理化できるところはデジタルや、時にはAIの力も借りて、経営資源の選択と集中を図る必要があります。まさに変化に対応できるものが生き残る時代に来ているのではないのでしょうか。

自然環境

今年は阪神・淡路大震災より30年、熊本地震からはまもなく9年、能登半島地震から1年となります。近年は台風や大雨の被害も大きく、夏は猛暑日が続く厳しい自然環境に晒されます。経営者としてはリスクへの備えも外せないでしょう。人間は自然には抗えません。与えられた環境下でどのように自然と共存するかが鍵となりそうです。

経営環境は良くも悪くも刻々と変化します。そのなかで経済を回していくためには、経営者の皆様は、変化にしなやかに応じる潜在力を磨き、厳しい環境下での競争力を培っていただきたいと思います。

税理士法人昂は、税務・会計に対する伴走者として、皆様に寄り添い、良い時は喜びを分かち合い、厳しい時は早目にアラートを出して対応策と一緒に知恵を絞る存在でありたいと思います。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

№124 令和7年1月7日発行 【担当】筑紫野オフィス 所長 加藤田 敏孝



税理士法人 昂

【熊本オフィス】

〒860-0844 熊本県熊本市中央区水道町8-6-8階
TEL 096-342-6307 FAX 096-342-6308

【筑紫野オフィス】

〒818-0023 福岡県筑紫野市大字若江509-2階
TEL 092-555-9205 FAX 092-555-9206